

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新築(簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	枚方寝屋川消防組合 新消防本部	階数	地上5F
建設地	枚方市新町一丁目229番1、229番6	構造	SRC造一部鉄骨
用途地域	第二種住居地域	平均居住人員	104 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,500 時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2013年7月12日
敷地面積	1,343 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 ニュージェック山口圭一
建築面積	735 m <sup>2</sup>	確認日	2013年7月12日
延床面積	3,040 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社ニュージェック山口圭一



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.6** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	84%
③上記+②以外の	84%
④上記+	84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub> 排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.3

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.9

### LR 環境負荷低減性

**LRのスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
<p><b>総合</b></p> <p>ライフラインや交通網が途絶えたときにも、災害対策活動拠点となることが求められる建物である為、建物の最低限の機能を保持することが必要となる。したがって、免震構造を採用し耐震性能を高くし、非常発電設備を備えて非常時に備えた建物として計画している。</p> <p>さらに、屋上緑化・太陽光発電設備などを採用し、地球環境にやさしい建物を目指している。</p>		<p>ソー-街路灯による省エネPRを実施。</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>施設内の快適性を確保するため、音環境(吸音内装材)、温熱環境(外皮断熱性能)、光視環境(昼光制御)、空気質環境(F☆☆☆☆建材、自然換気、全館禁煙)の向上に努めている。</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>施設のサービス性能向上のため、機能性(バリアフリー適合、天井高、リフトスペース)、耐用性(免震構造)、信頼性(節水衛生器具、非常用発電機、複数情報設備)、将来の更新性(資材の耐久性、設備や空間のフロンク)の自由度に配慮</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>周辺環境との調和(歴史的景観(京街道)、先進的(府道)」、消防署としての信頼性(安心感、落ち着き)、近隣の住宅地への配慮(視線(ブラッシュ)、圧迫感の軽減、親近感)に取り組むほか、色彩豊かな植栽計画を行う。</p>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>lowE複層ガラス、庇・ルバーによる日射取得の縮減など、省エネを実現するための対策を実施している。</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>省資源への貢献として、水資源(節水型衛生設備)、建材再利用性(高炉スラグ骨材、グリーン購入法適合建材、設備と内装の資材分別容易性)、に配慮している。</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>敷地外環境への負荷軽減のため、十分な断熱性能や高効率機器の積極的な採用によるLCCO<sub>2</sub>排出量削減、光害の抑制に配慮している。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム

## 大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	枚方寝屋川消防組合 新消防本部庁舎建設工事		
	建設地	枚方市新町一丁目229番1、229番6、229番7		
	用途/区分	事務所 工場		
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価			A
	CO2削減			4
	省エネ対策			4
	みどり・ヒート アイランド対策			3
	エネルギー消費量の報告			報告しない

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目		評価内容	スコア	評価
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.6	4
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体 4.0 住戸・宿泊	4
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.3	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目		評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
その他				
先進的技術の導入	技術の名称		考慮事項	
	-		-	
特に配慮した事項		-		